



合同プレス発表会で発表する深川代表



41

合同会社
数学屋ほん舗

数学の産業応用で 社会に貢献する

昨年9月10日に開催された平成30(2018)年度「第1回新商品・新サービス合同プレス発表会」で発表した各社と商品を紹介するコーナーです。今回は合同会社数学屋ほん舗をご紹介します。

「同 数学屋ほん舗は、2017年5月に開業し、2018年3月に合同会社となりました。業務の柱は、ロボットの性能をシミュレーションする「精密機械のモデルベース開発」と、今回発表した「半導体チップの形状最適化ウェブ演算サービス」です。

長方形の半導体チップは、表面に回路パターンを焼き付けたシリコン素材の円盤(ウェーハと呼ばれています)から切り出されます。ウェーハのサイズや長方形チップの大きさは色々ですが、図「有効チップ数最大化技術」で示すように、ウェーハの配置とチップ形状を最適化すれば、より多くのチップを切り出せます。

単純で簡単そうな技術に思えますが、実は非常に難しい代数幾何の問題です。

数学屋ほん舗は、形状最適化の問題に取り組み、計算幾何学や線形代数を駆使して解決して、国際特許を出願しました。

現在はWIPO(国際・国内特許データベース)で公開中です。(WO/2018/216091)

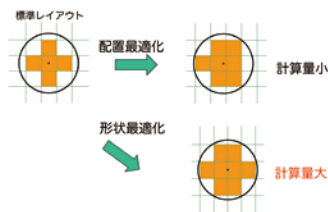
この技術の利用は簡単です。インターネット環境さえあれば、いまのところ無料で利用できます。

ぜひ、数学屋ほん舗のウェブサイト(https://suugakuya.com/suugaku_maxchip.html)にアクセスしてみてください。

数学屋ほん舗を開業した動機は、この素晴らしい技術を知って欲しい、利用して欲しいと考えたからです。もしも全世界で使えば毎年、配置最適化で約1兆円、形状最適化で約6000億円もの生産性向上が見込めます。

数学屋ほん舗は、技術は得意ですが営業は苦手です。この技術をビジネスにできる方は、ぜひご連絡ください。お待ちしております。

有効チップ数最大化技術



合同会社 数学屋ほん舗
代表 深川 容三さん